

〔大城勇太議員　登壇〕

○6番　大城勇太君　執行部の皆様こんにちは。6番大城勇太でございます。一般質問2日目の最後になりますが、まず初めに、今回新型コロナでお亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、新型コロナで様々な自粛要請などにご協力していただいた町民の皆様に感謝を申し上げます。町民の皆様が安心できる日が来るために、一刻も早く事態の収拾を願いたいと思っております。また本町役場職員の皆様、今回の特別定額給付金、10万円給付金の執行に当たり、昼夜問わずにご尽力いただいたことに、どこよりもいち早く町民の皆様に給付できたことに心より感謝申し上げます、本当にありがとうございました。また、新型コロナ感染拡大防止のため、様々な市町村で一般質問などを自粛している中、議会の一般質問の要望にも応えていただき重ねて感謝申し上げます。できる限り私の質問も自粛に応えられるよう、今回は一つの質問にさせていただきましたので、早めに、5分程度で終わらせるように心がけますので、しばらくお付き合いのほどよろしくお願ひします。では、通告書に従って質問させていただきます。

1. 新型コロナウイルス感染症対策について。（1）本町での今回の新型コロナウイルスでどのような影響が考えられるか。（2）新型コロナウイルスで影響を受けた飲食店やサービス業、保育所や学童などへは本町はどのような対策を考えているか。（3）新型コロナウイルスの影響で休校になった小中学校の影響と対策を問います。（4）独り親世帯、非課税世帯、貧困世帯への対応策を問います。（5）10万円給付金の進捗状況を問います。よろしくお願ひします。

○議長　知念富信君　副町長。

○副町長　国吉真章君　それでは質問事項1点目の新型コロナウイルス感染症対策について。（1）についてお答えいたします。人を集客する観光関係の旅行代理店や飲食関係のレストラン、居酒屋、サービス業などの客の減や建設業関係では建設資材が県外、国外の材料の調達が遅れることによる工期の遅れなど、多方面に影響が出ております。

（2）についてお答えします。飲食店やサービス業の活性化を図ることを目的として、町内事業所で使えるプレミアム付商品券の販売や企業への応援給付金及び助成金事業を行う予定です。保育所や学童へは昨年度末に国の新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策で行った各施設への備品等の購入補助に加え、引き続き今定例会に提案しています、体温計や空気清浄機、アルコール消毒液等の購入補助を予定しております。

（4）についてお答えします。独り親世帯への生活を支援するため、児童扶養手当受給世帯へ、児童1人当たり1万円を支給します。休校期間中は、企業等からの無償の弁当や物資を生活困窮世帯へ配布を行いました。また新型コロナウイルス感染症の影響で、収入が著しく減少している世帯に対して、就学援助の範囲を拡大して実施してまいります。

（5）についてお答えします。明日になりますが、6月18日振込予定分を含めますと、1万4,458世帯、91.6%が給付予定となります。以上です。

○議長　知念富信君　教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項1番目、(3)についてお答えいたします。臨時休校による授業時数の確保、各行事の延期や中止など、学校生活の多くに影響を受けております。今後の対策といたしまして、新しい生活様式を取り入れ、登校時の検温、マスク着用、手洗いやうがい、教室換気の徹底を図ってまいります。また3密回避を念頭にした各行事や集会、職員研修等の精選や開催方法の見直しを図るとともに、夏季休暇の短縮等により、授業時数の確保に努めてまいります。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午後2時49分）

再開（午後3時00分）

○議長 知念富信君 再開します。6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 それでは再質問からさせていただきます。(2)の飲食店への今後の対策ですが、5,000円の商品券を3,000円で購入できる応援キャンペーン、プレミアム付商品券に似たようになっていますが、購入見込みはどのぐらいか分かりますでしょうか。

○議長 知念富信君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 購入見込みですけれども、販売は今からなのではっきり言えませんけれども、前回のプレミアム率が20%のときに販売率が66%でした。今回はプレミアム率を40%ということで、お得感が2倍になりますので、前回よりもかなりある程度販売率が上がるものだと見込んでおります。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。5,000円の商品券を3,000円で購入する商品券、40%になって高くなつたと思いますが、なぜ5,000円の商品券を3,000円にしたのか。5,000円の商品券を2,000円でもいいのかなと思いますが、それはどういった経緯で3,000円になったのか、よろしくお願ひします。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午後3時02分）

再開（午後3時02分）

○議長 知念富信君 再開します。産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 議員がおっしゃるとおり、そうなるととてもうれしいことではありますけれども、この地方創生臨時交付金事業も町のほうでいろいろな事業を行っています。予算の限られた範囲内で、このような形で40%という形で進めたいと思って計画しました。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。昨日も商品券の質問がありましたが、これは商品券を購入してからの使用期限というのはありますでしょうか。

○議長 知念富信君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 今から券の印刷とか、変えるはがきの印刷があるものですから、印刷する準備期間に1か月から1か月半ぐらいを予定しています。それからの話になりますけれども、今回、期間は今から設けるつもりでありますけれども、ある程度即効性がある、長く取ると業者を支援する意味も、このプレミアムは町民の方に2,000円分のプレミアムがあるというのも一つの目的でありますけれども、事業者が活性化する、要はこれを使う期間も短く、長く持つんじやなくて、短くしようということで考えていますけれども、今から商工会と調整して、その辺はどれぐらいの期間にしたほうが受け入れる事業者の方がいいのかと相談をしながら決めるようにします。年度内には終わる予定にしています。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 2,000円は飲食店限定とありましたが、即効性を出すために期間を短くする、そういう意味で3密、集中して3密にならないかどうか。そういう面は検討されていますか。

○議長 知念富信君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 それを利用するのを町のほうでどうと言える、そこまではちょっとできないと思うんですけども、やっぱり店舗のほうが、今お話を聞くと、私もお昼行っていますけれども、テーブルが大体10個あったら、予約という形でテーブルを、定員を半分とか、極端な話でいうと100名入る店舗なんですけれども、50名入るような形にして営業をしている、お昼行ったところで、そういう店舗がありましたので、夜のこういうところもそういうふうにやっていただけるものだと思っております。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 この飲食店、2,000円は飲食店限定とありましたが、この飲食店と

いうのはどういったものが含まれますか。

○議長 知念富信君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 これは個人の飲食、居酒屋とかレストランです。大手、サンエー、イオンとかに入っている大きいところについては、今商工会と話していますけれども、それ以外の、大きい店舗以外の、小さいとかすみません、言葉が悪いんですけども、個人的な飲食店にということで今考えております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 飲食店については、後ほどまた再質問をします。プレミアム付商品券同様ですね、3,000円の負担という形になりますので、早目に皆さんに行き渡るように考えたら、2,000円の商品券をそのまま配布してもいいのかなと思いますが、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 おっしゃるとおり、お得が2,000円なので、そのまま2,000円分の商品券を配布するという考え方もあると思いますけれども、今回のプレミアム付商品券については、町としては2つの目的があります。おっしゃるとおり2,000円についてのお得感については町民の皆様が受けられるということです。私たち考えているのは、町内業者ですね、特に飲食店の方に活性化してほしいものですから、議員提案の形で2,000円を全世帯、今大まかで言いますと1万6,000世帯になりますけれども、それを2,000円にすると事業費が3,200万円になります。ですが、5,000円にすると、8,000万円の事業規模になります。ということは町内の、8,000万円お金が回るということですね。ということは景気がよくなるということです。先ほどおっしゃった2,000円の場合と5,000円の場合には、5,000円の場合は2.5倍の事業の成果が得られるということで、この目的もあるものですからこのような形で進めたいと計画しております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。3,000円は各個人で負担して、皆さんで回してくださいというふうな感じだと思いますが、これもまた今からの事業ですので、いかにしてうまく回っていくのかというのは是非検討していただけたらと思います。また、今回の地方創生臨時交付金の地域産業応援事業ですけれども、今回南風原町が提案した企業、5年以下の事業所に対しての10万円を支給するというふうなものがありましたが、なぜ今回は企業を5年以下にしたのか。また今回7月に行われる第2次補正予算での地方創生臨時交付金では、今後5年以上の事業所も該当できるのか、するのかどうかというのを教えてください。

○議長 知念富信君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 5年以下にしたのは、これもまた、先ほどお話ししましたけれども、町のほうでは1億3,795万4,000円の交付金がありますけれども、それに16の事業を行っています。これを5年とは限らず、全部となると、こちらのほうで全部この予算を食っちゃうというか、すみません…、なるような形になるものですから、やはりそこら辺は予算の事業を見ながらということで、全部というのではなくて5年以下と。5年以下としたのは、やっぱり起業して間もないときには足腰が弱いというか、まだしっかりしていないということなので、支援するのに限られた予算の中で弱いというか、まだ盤石じゃない企業を支援していきましょうということで5年以下というのを決めて今回やりました。じゃあ、5年以上6年以上の方はどうしますというお話ですけれども、これも今から第2次補正のほうで国のほうからいろんな要項が来ると思います。やっぱり今回捨えなかつたというか、支援できなかつた部分は、2次が来たときにはそれをどのようにしようかということで考えないといけないと思います。それを私、産業振興課だけで決めるんじゃなくて、町全体で、総務とか企画のほうと調整しながらですね、できるだけ支援できるような形で計画を立てていくような形をできたらいいなと思っております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。今回様々な事業所のお話を聞いてきました。やはり町内の事業所においても前年度比からするとマイナス95%、約100万円200万円の話じゃないので、幾ら頑張っても自分たちが10万円の給付をしたところでやはり厳しいというお話もお聞きしました。やはりなはのほうではレンタカー屋さん、4,000台抱えているレンタカー屋さんが1日2台しか出ないと。もうほとんどレンタカーも占いといけないと状況、そういうものもありますので、やはりこういった事業所も含めて、どういった形でこの南風原町自体がどういった支援ができるのかというのも、今後2次補正も見ながら検討していくかと思っております。まずよろしくお願ひします。

続いて、保育園について再質問をさせていただきます。3月13日金曜日に新型コロナウイルス感染症対策として、保育環境改善事業の、物品等の必要書類の提出を行ったことをお聞きしました。町内21園全園が補助を受けられているかどうかお聞きします。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午後3時11分）

再開（午後3時12分）

○議長 知念富信君 再開します。こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。認可保育園、公立、小規模保育園、合わ

せて14園がこの補助を受けておりまして、補助を受けていないというところは、園自らこの補助を受けないということで手続がございましたので、14園となっております。以上でございます。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 今回の事業は、1園当たりの補助金額と本町負担は幾らかお伺いします。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。1園当たり50万円となっておりまして、こちらは国庫10割補助となっておりますので、町の負担はございません。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 申請した保育園は満額受けられているのかどうかお伺いします。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 令和元年度分においては50万円の執行の限度額がございまして、執行額は全て50万円以下でございますので、申請をしたところには満額補助が行われております。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 今回のコロナ対策、保育園環境改善事業において50万円が1園当たり出されていると思いますが、この50万円は今後も令和2年度内にまだ使えるのかどうかお伺いします。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。この50万円の補助は令和2年度も利用できます。内容としては、令和元年度と令和2年度に合わせて50万円の補助が受けられるというふうな仕組みとなっております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 これは全園令和2年度までに使えるというのは、みんな周知はされていますか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。令和2年度分のものについては、今現在、今議会で補正予算として提案している予算の中に組み込まれております。認可保育園のほうにはそういった予算のほうが出すに当たって情報交換としては50万円のものを提案しているということは行っておりますが、可決後、残りの小規模保育園、あと無認可保育園などにこの周知を図っていく予定でございます。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。やはり園長会で認可保育園は知っているが、小規模保育園、認可外保育園は知らないということになると、またそれもちょっと不公平かなと思いますので、是非周知していただければと思っております。また今年度8月に明星保育園、よなは第2保育園が開園されますが、その保育園にも事業対象になるのかどうかお伺いします。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。こちらですね、国庫の申請のほうもまだ先週ちょっと内容が届いたばかりでございますので、そういったところで、8月に今申し上げた2園は開園しますので、そういった時点の取扱いも含めて対応していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。今回の事業は、国から10日に来て、13日までに提出という形になったと思うので、やはり期間が、情報が少なかったこと。そういう面で3月の時期ですから、マスク、体温計も全て売り切れてなかなか購入できなかった。空気清浄機もなかったという話をお聞きしました。やはりこういったものも含めて、必要なものを買えるのかどうかという、ここからの提案じゃないですが、パンフレット的なものも、是非保育園などにも提出していただければ、調べずにこういったものが買えるんだなというふうに分かると思いますので、そういった面はパンフレット等は配布という形、パンフレットじゃなくても必要部品の一覧みたいなものが今後提出できるのかどうか、お伺いします。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。今、申し上げた件は去る令和元年度3月時点でのやり取りの件だと思いますが、おっしゃるように3月10日に我々のほうも3日間

のうちで通知が届いて、保育園からの情報を集めて国へ届けるということで非常に短い期間の内容でございましたが、そういった中で感染症対策のマスク、消毒液などの対応でどういったものが補助金の対応になるかというのが非常に今回のポイントでございました。ですが、国、県のほうへ申請の情報があったと同時にですね、県のほうに照会をかけたところ。県のほうにおいても、国のほうにおいても感染症対策に資するものであれば、是非申請を行ってほしいということで非常に限定列挙の内容でなかつたことから我々保育園のほうとのやり取りにおいては、感染防止に資するものでやって、町としてもこの補助対象のほうに、基本的には認める方向のスタンスで対応していくということも園長会と小規模保育園、認可外保育園にその時点では伝えております。ですので、我々のほうから限定的な列挙で補助対象の物品を提供するということは行わずに、感染症対策に資するものでは是非補助金の申請をしていきましょうというスタンスでございます。感染症対策に資するものという内容はしっかりと町のほうでも確認をしていくというスタンスで取り組んでおります。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 やはり期間も少なかったということもあるかと思いますが、40万円以上取っているところもあれば、7,000円とか、1万円以下しか取っていないところもあるわけですから、自分たちで調べてやるよりも、この短い期間であれば何かしらのものが、こういったものが購入できるよというものさえあれば、すぐにでも把握できると思うので、そういう面をちょっと配慮していただけたらと思いますので、やはり第2波の懸念もある中ですので、是非これは町の子供たちのためによろしくお願いします。

次に学童クラブについてですが、家賃補助の支援単位の変更の増とありましたが、それはどういった形での学童クラブに対しての家賃補助になるのかをお伺いします。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。学童クラブの家賃補助の件については、ある学童が面積は2支援ができる面積を確保されている中で、これまで1支援で行っていたところ、今年度から2支援に変更したものですから、家賃補助としては2支援分が対象になるということで、そういったことの支援の増によるものの補正予算の提案となっております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。じゃあ、これはコロナ対策というわけではなく、数が増えた形の支援という補正予算になっているんですか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えします。そのとおりでございます。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。やはり学童も急な、朝から晩までの形で支援に取り組んでいるわけですので、是非ともこの学童の午前中から開けて、人も増やしているということをお聞きしました。また、父兄の方々も弁当を持参しないといけない。そういう面でかなりのいろいろな負担もしていますので、やはり学童クラブについても第2次補正でどういった形で支援できるかというのを検討していただけたらと思いますので、是非ともよろしくお願ひします。

次に（3）の小学校について再質問をさせていただきます。小中学校の学習支援を各学校1名増やしていくとありました。以前も私は町内学習支援員の拡充を一般質問で取り上げましたが、今回の新型コロナで学習の遅れを取り戻すためだと考えます。学習支援の増員の期間などはいつまででしょうか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 今回、増員の期間は、令和3年3月31日、今年度いっぱいを予定しております。7月から3月までの間です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 これも私の意見ですけれども、各学年1名の支援が必要だと考えております。実際に、与那原小学校では各学年1人ずつの支援員がいますので、こういった学習支援が必要かと思いますが、この各学校1人の学習支援員で、7月から3月までで十分な勉強の遅れが取り戻せるという考え方でよろしいでしょうか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 当然ですね、支援員の配置というのは多いほうがいいということはあると思っております。ただ、南風原町は今回の増員の、学習支援員以外にも先生方のふだんから負担軽減を図って、子供たちへの関わりができるような時間を確保するための支援を行っておりますので、例えばですが、英語指導助手を小学校に全部で6名、中学校に全部で2名、特別教育支援員を小中学校で26名、こころの教室相談員を5名、スクールサポートスタッフを8名、それ以外にも保護者の方から相談を受けるための教育相談員や特別教育相談員も町のほうで配置して、現状で計69名の方を配置しております。さらに沖縄県のほうからもスクールソーシャルワーカー1名、スクールカウンセラー5名、小中アシスト2名という形があります。さらに南風原町には学校応援隊はえばるがございますので、やはりみんなで今回の件を取り組んでまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。南風原町は確かに特別支援員というのは相当たくさんの中取り組んでいますというふうに、やはり周りからも言われます。今後、この期間中に十分に遅れが取り戻せなかった場合、また支援員の延長なども検討して、今後また学力テストなども含めて検討していただけたらと思います。

次に小学校のマスク着用についてですが、現在、マスクをつけて登校する、マスクをつけることによって熱中症などに懸念があることから、登校日は日傘を使用しながら登校することでソーシャルディスタンス、一定の距離を保持すればマスクを外してもよいという学校もちらほら出てきているようですが、本町でも登下校は日傘使用でマスクを外してもいいのかなと思いますが、見解を伺います。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 最近懸念されているとおり、暑くなってきておりますので熱中症対策等も言われているところであります。学校では基本的にはマスク着用は指導しておりますが、体育のときだったり屋外、登校時も含めてマスクの着用が厳しい場合には、距離を取って歩くようにとの指導を行っております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。中国の体育の授業では、マスクを着用したまま体育の授業を受けて熱中症で亡くなったケースもありますので、小学校以上でも一律にマスクを義務付けるのではなくて、子供たちの心身の健康を第一に考えて、個の特性や場面に応じて着用の判断をしていただけたらと思っておりますのでご検討をよろしくお願いします。

次に小学校のプールの授業は予定されているのでしょうか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。今年度につきましては、感染拡大防止の観点からプールの実施は行わない予定をしております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。今回プールの授業を行わないということですが、やはり小学校の先生たち、去年からプールの監視員がいないということで大分苦労されているようです。やはり水質検査は毎時間やらないといけないし、一日二日空けると藻が出ると。そういう面でも小学校の先生、担任だけに水質検査をさせたり、水の維持をさせるのはちょっと、休み時間でもなかなかできないというふうにお聞きしましたので、

このプールの監視員は来年度プール再開するに当たって監視員の配置を検討できるのかどうかお伺いします。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。プールの監視員に関しては検討してまいります。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。またこの水で感染症防止のため、糸満のほうでは生徒が使う水道が自動になっていると。そういう面も本町は検討があるのかどうか、2次補正も含めてですね、よろしくお願いします。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。今、水道の自動で出るような形というのは検討しておりません。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。やはり手洗いも含めて、毎回毎回児童が使うわけですから、そういう面も検討されると助かるなと思いますので、是非よろしくお願いします。

またコロナの影響で各学校の給食中の状況をお伺いします。

○議長 知念富信君 教育指導主事。

○教育指導主事 大城 圭君 お答えいたします。給食の指導も感染拡大防止の観点から…。

[「休憩願います」の声あり]

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午後3時29分）

再開（午後3時29分）

○議長 知念富信君 再開します。教育指導主事。

○教育指導主事 大城 圭君 お答えします。それぞれ感染拡大の観点から基本的に各学級のほうで個別で前を向いて、飛沫を防ぐという観点でそれぞれの机で食べている状況です。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 私の小学生の長男は、毎日朝、今日の給食は何かなど気にするぐらい子供にとって給食というのは一番の楽しみでもあるわけですね。私の子供ですから、なかなかおしゃべりができない、するなと言ったら、毎日先生に怒られているようすけれども、楽しいはずの給食が今では一定方向を向いておしゃべり禁止、しゃべったら怒られる。そういう面でもどうにかできないかなと思いますが、そこで先ほどの質問に戻りますが、産業振興課の金城課長にお伺いしますが、飲食店での居酒屋とか、そういう面でも一定方向とかおしゃべり禁止でやるのかどうかお伺いします。

○議長 知念富信君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 私が昼間に行ったところでは一定方向ではありませんでした。私がネット等で確認したんですが、イオンライカムとかのフードコートがありますね、よくマックとかいろいろ入っている。ああいうところは、一定方向に向けてやっているというのを聞いております。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 私もテレビで見たんですが、大人は居酒屋に行って、子供はおしゃべりするなみたいな感じで、テレビでもやっていたんですが、そういう感じにすると子供たちも給食中は、せっかく楽しい給食なのでかわいそうだなと思っております。一応、私の子供が言っていたんですが、校内放送で生徒たちのリクエストの曲を流したり、電子黒板があるわけですから、電子黒板で何か映像を流したり、もうちょっと楽しい雰囲気ができたらなと子供が言っていましたが、そういうことはできるのかどうかお伺いします。

○議長 知念富信君 教育指導主事。

○教育指導主事 大城 圭君 お答えいたします。今現在、実際に各学校のほうでは給食時間に、先ほど議員がおっしゃったように校内放送で、今日の献立の紹介とか、あと学校によってクイズ形式、子供たちが実際に楽しめるようにということで、お互いのおしゃべりはできないんですが、クイズ形式などを出したり、あとは音楽的なものを流したりという状況が、そういう形で運営はしているみたいです。電子黒板については、各学校の運用等も含めてまた今後、相談していきたいと思います。学校によっては食育の観点で、もくもくの食事、給食ということで、静かに食べようという感じの指導を行っている。特に小学校においては時間内に食べきれない子供たちがいるので、時間内に食べるというのが狙

いの中に一つ入っているので、できるだけはまずは静かに食べて、それでまずは時間どおりに食べるという感じの指導もあります。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 せっかくの給食なので、是非子供たちも楽しい給食を過ごせたらと思っております。また今回、授業日数や授業の遅れを取り戻すために夏休み返上で子供たちは学校に行くことになります。当初なら、夏休み期間中に様々な計画があるものだと思いますが、夏休み返上で学校に通う、約5,600名ぐらいですか。その子供たちの給食の確保はできているのかどうかお伺いします。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん 給食の提供予定はしております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 給食のことでお伺いしたいんですが、給食センターの工事が入っているとお聞きしました。この場合でも給食の確保、そして1食当たり、小学生だったら230円、中学生では250円ぐらいですかね。その給食費ですが、こういったものも給食センターで作るのか、委託業者にお願いするのか。それをお伺いします。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん お答えします。現在、給食が提供できるように検討中でございます。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 検討中で約5,600人の食事が提供できるところがあるのかどうか。またこの工事期間はどのぐらいを予定しているのか。給食センターで作れない期間はどれぐらいなのかお伺いします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 今回、夏休みが8月1日から10日までになります。後ろのほうで、その10日後について授業という形になるんですけれども、8月1日から8月24日までの間、工事等が入る形となります。先ほど申しましたのは7月の間の給食、それから24日後の給食については給食センターのほうで準備ができるということでございます。工事の期間については、主食と牛乳等については給食センター以外で作れるんですけれども、そ

の副食の部分について給食センターが稼働していませんので、その分については給食が提供できるように、今、各機関と調整しながら準備を進めているということでございます。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 なかなかこの5,600人の給食の副食が業者等も検討するのは難しいと思いますが、是非子供たちには栄養、本町の給食センターで作っているのと同等の栄養が摂れるようなものが提供できるようによろしくお願ひ申し上げます。

次に（4）の再質問です。独り親世帯に児童1人当たり1万円を支給するとありました  
が、負担軽減のほかに非課税世帯や貧困世帯への1万円支給が検討されているのかどうか  
お伺いします。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。今回の臨時交付金を活用しての独り親世帯、児童扶養手当受給世帯へ児童1人当たり1万円を支給するということで今議会に提案をしておりますが、それ以外の貧困世帯等への支給というものは、今現在予定はしておりませんが、今後また、臨時交付金の2次分とかが府内で情報収集している状況でございますので、そういうところで考えていくものだというふうにこども課としては予定しております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 コロナの影響で収入が減になった、減免も大事だと思いますが、やはり今現在お金を必要とする方々に行き渡るような形で支援していけたらと思いますの  
で、是非この2次補正予算でご検討のほどよろしくお願ひします。

最後に（5）の再質問をします。10万円の給付金ですが、様々な議員がこの質問を取り上げたので再質問の内容を変えてやりたいと思います。我が家にも10万円の給付金が入りました。嫁に、あなたはあなたなりの使い方をしてくださいと言われたんですが、企画財政課の方々もいろいろご尽力されたと思いますが、総務部長にお聞きしますが、議員なりの使い方はどういった感じのほうがよろしいのかお聞きします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暉君 議員皆さん、それぞれで使い道が判断されると思いますが、地域経渉、町内の経済活性化に使っていただければ町民も喜ぶと思っております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。10万円、嫁さんが使っていいというふうに

聞いたので、是非この南風原町で使いたいと思っております。今回、国は定額給付金の基準日を4月27日と設定しました。しかし、4月28日に生まれてくる子供もいます。やはり一日でも遅れて生まれた子供には対象にならないと、不公平の声も数多くあったことから、やはり各自治体の、独自の支援策を取っているところが相次いでいるとありました。本町でも独自の支援策のあるかどうか、お聞きします。

○議長 知念富信君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。今後、国の第2次補正予算で地方創生臨時交付金が拡充され、交付される見込みとなります。この交付金を活用して感染拡大の影響を受けて、地域経済や住民生活を支援する事業として優先度が高い事業であるか。そういうものを含めて検討していきたいと思います。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 大阪の河内長野市では来年3月までに生まれる子供に。そして岡山県の浅口市では来年4月1日まで、同学年の新生児に10万円を支給するとありました。香川県の善通寺市では4月27日までに母子手帳を発行していれば独自の支援策で10万円を支給すると、そういうものもありました。また先ほどの善之議員からもあったように第4子が6月4日ですね。6月4日だけにやはり「無視（ムシ）」できないなというふうに思いますが、そこで町長に質問したいと思います。町長は子供には愛を、そして若者には夢を。お年寄りには安らぎをというスローガンの下でありますが、是非4月27日以降に生まれてくる子供に10万円の愛の手を差し伸べていただきたいと思いますが、町長の見解を伺います。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。この定額給付金、最初、前年度に比べて収入が減った世帯に30万円とかという話から出発したんですけれども、そのときに交付するための条件等をどういうふうに行政として判断すればいいかというふうに、非常に難しいことだなと思っているときに、政府のほうが方向を変換しまして、一律国民1人に10万円ということになりました。スピードアップが図られたわけですけれども、そのときも少し疑問に感じていました。ただししかし、先ほども答弁したとおり、実際やってみると、この給付を受けた方々からもう届いたよ、皆さん大変だったねというふうな、そういう話を聞きますと、やはり経済的な問題だけじゃなくて、今回のコロナウイルス関係でいろんな面で、精神的な面も含めて、いろんな面で負担がかかったんだなということが分かったものですから、これから担当課長から答弁がございましたように、基本的に、このコロナウイルス対策の交付金の性質を基本としまして、さらに町として何ができるかと。先ほど申し上げました経済的な問題だけじゃなくて、精神的な、あるいはまた生活上のいろんな苦労とか、そういうものを考慮しまして、どういった支援ができるかというのをこれから行

政としましては事業化していくと、検討していくということでございますので、ただいま勇太議員からありました件も何月生まれとかという具体的な問題はあるかもしれません、それも一つの事業として、選択肢であったというふうな認識で取り組んでまいりたいと思っております。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございました。町長もありがとうございます。これで私の質問を終わりますが、冒頭で話したように、やはり今回の本町役場職員には改めて日中間わざにご尽力いただいたことに深く感謝申し上げます。やはり那霸市の10万円給付金についても、本町よりも1週間も遅れて、何かきれいに届いたらしんですね、封筒がきれいに。だけど本町はちょっと雑だったようなという話を聞いたので、その雑さが逆に皆さん一生懸命封入作業もやったのかなと思えるのかなと思いますので、やっぱり役場職員が家族を顧みず日中やってくれたことには、町民にとっては何よりも価値あるものになったと解釈しております。これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。